

< 事業所自己評価_様式例 >

【事業所概要】

法人名	社会福祉法人 博愛福社会	事業所名	看護小規模多機能型居宅介護 ゆとり庵石守
所在地	(〒675-0005) 兵庫県加古川市神野町石守 301-4-1		

【自己評価の実施概要】

事業所自己評価 実施日	西暦 2021 年 10 月 13 日	従業者等自己評価 実施人数	(15) 人	※管理者を含む
----------------	---------------------	------------------	----------	---------

※ 当該様式は、「事業所自己評価」の結果を整理するとともに、その結果を運営推進会議へ報告するための様式として使用します。また、運営推進会議において得られた主なご意見等は、次ページ以降の「運営推進会議における意見等」の欄にメモします。

■ 前回の改善計画の進捗評価

項目	前回の改善計画	実施した具体的な取組	進捗評価		
			自己評価	運営推進会議における意見等	
I. 事業運営の評価 (評価項目 1～10)	新型コロナウイルス感染拡大防止に重点を置きながら、チャットを利用し職員間の情報共有は質高く継続していく。 「うつらない・うつさない」との強い思いで、感染予防策を確実に実施して、必要不可欠な在宅サービスを継続していく。	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者様、ご家族様に複数回にわたって感染予防対策にご協力を頂く依頼文を配布した。 ・チャットと昼礼、月1回のリーダー会議を利用して情報共有を質高く実施した。 ・利用者様が発熱した場合もすぐに病院受診や往診を支援し、適切にサービス提供を維持するよう努めた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ご家族と事業所が一体となり感染予防対策を実施し、自宅と施設の両方での検温、消毒、マスク着用を徹底できた。 ・細やかな情報共有がタイムリーに実施でき、その日の状態に合わせた臨機応変なサービス提供が実施できた。 ・コロナ禍においても、サービス提供数を低下させることなく維持し、地域に貢献できた。 		
II. サービス提供等の評価	1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供 (評価項目 11～27)	3つのグループに分けて毎月必ずカンファレンスを実施し、生活支援シートを定期で更新することで、支援の方向性を統一する。看護師、セラピストからの意見も柔軟に取り入れ、利用者の特性・変化に応じたサービスを提供する様務める。	<ul style="list-style-type: none"> ・3チームに利用者様と職員を分配し、毎月必ずカンファレンスを実施した。 ・看護師もカンファレンスに参加できるようスケジュールを調整した。 ・訪問看護ステーションからセラピストも評価に介入してもらった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生活支援シートを定期で更新し、支援の方向性を統一できた。 ・看護師、セラピストからの意見も柔軟に生活支援シートに取り入れ、利用者様の特性・変化に応じたサービスを提供できた。 ・必要な利用者様に対して生活リハビリ表を作成し、介護士が積極的に取り組めた。 	

	2. 多機関・多職種との連携 (評価項目 28～31)	医療との連携を密に図ることで、様々な症例を支援し、医療ニーズの高い中重度の利用者様の受け体制を拡大していく。	<ul style="list-style-type: none"> ・医療機関や居宅介護事業所に医療ニーズの高い利用者様の支援が可能であることを繰り返し伝えた。 ・主治医と密に連絡を取り合い、状態変化に応じて必要な医療処置の指示を受けた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・医療ニーズの高い利用者様を前年度より多く登録し、継続支援できた。 ・電子カルテ等の活用で状態の分かる写真の送付も頻回に実施し、その時々に必要な処置を実施できた。 	
	3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画(評価項目 32～41)	地域行事に参加することで地域の方々と関わる機会を増やし、事業所についての理解を深めていきたいが、感染拡大防止に取り組む現状では難しいと考える。リビング加古川に掲載してもらい、事業所について情報発信したので、地域への理解が深まることを期待する。	新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、地域との連携は困難であった。	今後は、地域密着型サービスとしての認識をしっかりと持ち、地域包括ケアの一員として、地域にますます貢献していきたい。	
Ⅲ. 結果評価 (評価項目 42～44)	主治医との連携を密に図ることで、全ての利用者様及びそのご家族様に安心して在宅介護を継続して頂く。 在宅での看取りを希望される方に対して、看取り介護についてしっかりと説明し、同意を得た後、訪問看護、主治医と連携を図り安心感を得て頂く	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍においてもご自宅や事業所での看取りを支援し、状態が悪化していく中での在宅生活と施設生活のバランスを調整する。 ・ご家族様による介護・付き添いを大切にする事で、安心したサービス提供に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍においてもご自宅や事業所での看取りを支援でき、ご本人とご家族様の希望を大切にすることができた。 ・ご家族からも満足のいく素晴らしい看取りができた大変良い評価を頂いた。 		

	よう努める。			
--	--------	--	--	--

※「進捗評価（運営推進会議における意見等）」には、運営推進会議の場で得られた主なご意見等をメモします。その他の欄は、事業所が記載します

■ 「今回の改善計画（案）」および「運営推進会議における評価」

項目		改善計画（案）	運営推進会議における意見等
I. 事業運営の評価 (評価項目 1～10)		<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、新型コロナウイルス感染拡大防止に重点を置きながら、チャットや昼礼を利用し職員間の情報共有は質高く継続していく。 「うつらない・うつさない」との強い思いで、感染予防対策を確実に実施して、利用者様が安心して在宅生活を継続できるようサービスを維持する。 	
II. サービス提供等の評価	1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供 (評価項目 11～27)	<ul style="list-style-type: none"> 毎月必ずチームカンファレンスを実施し、生活支援シートを定期で更新することで、支援の方向性を統一する。 主治医、看護師、セラピストからの意見を柔軟に取り入れ、利用者様の特性・変化に応じたサービスを提供する様務める。 	
	2. 多機関・多職種との連携 (評価項目 28～31)	医療との連携を密に図り、医療ニーズの高い中重度の利用者様の受け体制を拡大し、在宅での看取りにおいても丁寧に支援していく。	
	3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画 (評価項目 32～41)	<ul style="list-style-type: none"> 地域行事に参加することで地域の方々と関わる機会を増やし、事業所についての理解を深めていきたいが、感染拡大防止に取り組む現状では今はまだ難しいと考える。 地域の方々からのご相談に真摯に対応し、看多機として安心 	

		した在宅生活をどう支援できるか説明する。	
Ⅲ. 結果評価 (評価項目 42～44)		主治医との連携を密に図ることで、全ての利用者様及びそのご家族様に安心して在宅介護を継続して頂く。 在宅での看取りを希望される方に対して、看取り介護についてしっかりと説明し、同意を得た後、訪問看護、主治医と連携を図り安心感を得て頂くよう努める。	

※「改善計画(案)」には、事業所としての案を記載します。「運営推進会議における意見等」は、運営推進会議の場で得られた主なご意見等をメモします

■ 評価表 [事業所自己評価]

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における意見等	評価の視点・評価にあたっての補足
		よくできている	おおよそできている	あまりできていない	全くできていない		
I 事業運営の評価 [適切な事業運営]							
(1) 理念等の明確化							
① 看護小規模多機能型居宅介護の特徴を踏まえた理念等の明確化とその実践							
1	○ サービスに求められる「①医療ニーズの高い利用者の在宅生活の継続支援」、「②在宅での看取りの支援」、「③生活機能の維持回復」、「④家族の負担軽減」、「⑤地域包括ケアへの貢献」を含む、独自の理念等を掲げている	○	○				✓ ①～⑤の全てを含む理念等がある場合は「よくできている」 ✓ ①～⑤の一部を含む理念等が掲げられている場合は、「おおよそできている」もしくは「あまりできていない」 ✓ 独自の理念等が明確化されていない場合は「全くできていない」
	[具体的な状況・取組内容] ① ②④がよくできている 看護小規模多機能だからこそできる包括的な支援を実践するため努力していると思う。 家族と日々顔を合わせた際に話を傾聴するなどして悩みを聞いている。 連泊を継続するのではなく期間を設け、在宅で生活できるように検討している。 1年間で5名の看取りを支援し医療ニーズ						

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
		<p>の高い利用者様においても、ご家族の負担を軽減し最期まで在宅で支援することができた。</p> <p>理念は事務所と面談室に掲示している。</p>					
2	○ サービスの特徴および事業所の理念等について、職員がその内容を理解し、実践している		○				<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「サービスの特徴および理念等を踏まえた実践」の充足度を評価します ✓ 独自の理念等が明確化されていない場合は「全くできていない」
		<p><u>[具体的な状況・取組内容]</u></p> <p>在宅支援に必要な視点を持って業務を行っている。</p> <p>常に利用者を一番に考え、寄り添った介護が出来ている。</p> <p>利用者様一人一人の支援手順書があり、それに従って実践している。しかし、全員が完ぺきでは無いため、現状に満足せず手順遵守していく。</p> <p>日の出プライド、ゆとり庵石守の理念を掲示し、人事考課のたびに見直している。</p> <p>在宅生活が継続できるように一人一人に寄り添って、柔軟にサービスを変更している。</p>					
(2) 人材の育成							
① 専門技術の向上のための取組							
3	○ 職員との話し合いなどを通じて、各職員の中長期的な育成計画などを作成している		○				<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「育成計画の作成」の状況について、充足度を評価します ✓ すべての職員について育成計画
		<p><u>[具体的な状況・取組内容]</u></p>					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
	る					リーダー会議の場で新人職員の育成計画を経時的に話し合う事が出来ている。しかし、年数を重ねている職員の指導は中々行えていない。 入職前から教育系の職員を選出して長期的に育成計画を立てている。出来るようになったこと、まだ出来ないことを明確にしている。 正職員に対して自己評価、目標の達成度を明確化している。	などを作成している場合は「よくできている」 ✓ 育成計画などを作成していない場合は「全くできていない」
4	○ 法人内外の研修を受ける機会を育成計画等に基づいて確保するなど、職員の専門技術の向上のための日常業務以外での機会を確保している		○			<u>[具体的な状況・取組内容]</u> コロナ禍で対面研修は困難だが、毎月のEラーニング研修は各自で受講し、受講報告書も提出できている。 必要に応じてオムツ交換の実技指導は行えた。 法人からの研修案内も定期的であり、職員が自分で選択できる。	✓ 「専門技術の向上のための日常業務以外での機会の確保」について、充足度を評価します
② 介護職・看護職間の相互理解を深めるための機会の確保							
5	○ 介護職・看護職・介護支援専門員の間で、職員が相互に	○					✓ 「情報を共有する機会」の充足度を評価します

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
	情報を共有する機会が、確保されている	<u>[具体的な状況・取組内容]</u> チャットで全体へ申し送り、昼礼で当日の申し送り、毎月のカンファレンスで重要事項の情報共有がしっかりできている。 時々、申し送りの情報が不足していることもある。 担当利用者以外の方の事も日々観察し情報共有に努めている。					✓ 例えば「利用者等の具体的なケースについて話し合うための、定期的なカンファレンスの開催」などが考えられます
(3) 組織体制の構築							
① 運営推進会議で得られた意見等の反映							
6	○ 運営推進会議で得られた要望、助言等を、サービスの提供等に反映させている		○				✓ 「得られた要望・助言等のサービスへの反映」の視点から、充足度を評価します
② 職員が安心して働くことができる就業環境の整備							
7	○ 職員が、安心して働くことができる就業環境の整備に	○					✓ 「職員が、安心して働くことのできる就業環境」の充足度を評価し

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
	努めている	<p>[具体的な状況・取組内容]</p> <p>畳のフローリング化、段差の手すり設置、ロッカーの配置変更など常に安心して働く環境整備に取り組んでいる。</p> <p>無駄な残業は無し。</p> <p>看取り支援後に職員間で共有を図り、精神的負担の軽減を図れた。</p> <p>問題点があれば上司に相談できる環境が整っている。</p> <p>1日の業務分担が明確であり、やむを得ない場合は職員間で助け合い業務を交代できている。</p> <p>急な休みにも対応してくれる。</p> <p>新しい利用者様の介助をするときなどは2人1組で行っている。</p> <p>就業規則の公開、定期的な健康診断を行っている。</p>					<p>ます</p> <p>✓ 例えば、「職員の能力向上の支援」、「精神的な負担の軽減のための支援」、「労働時間への配慮」などが考えられます</p>
(4) 情報提供・共有のための基盤整備							
① 利用者等の状況に係る情報の随時更新・共有のための環境整備							
8	○ 利用者等の情報について、随時更新を行うとともに、		○			<p>✓ 「情報の随時の更新」と「職員間で迅速に共有するための工夫」の</p>	

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき てい る	およそ でき てい る	あまり でき てい ない	全く でき てい ない		
	必要に応じて職員間で迅速に共有できるよう工夫されている	<u>[具体的な状況・取組内容]</u> チャットを利用し、日々情報交換をして昼礼時の申し送りで手順書の内容も適宜変更している。 生活支援シート等の更新が、変化があったらその都度ではなく、更新月にまとめて変更していることが多い。					2つの視点から、充足度を評価します
(5) 安全管理の徹底							
① 各種の事故に対する安全管理							
9	○ サービス提供に係る利用者等および職員の安全確保のため、事業所においてその具体的な対策が講じられている		○				✓ 「各種の事故に対する予防・対策」の充足度を評価します 対策が求められる事項としては、例えば「医療・ケア事故の予防・対策」、「交通安全」、「夜間訪問時の防犯対策」、「個人情報保護」などが考えられます
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> 事故が発生すれば事故報告書を記載しスタッフと共有する中で改善点を考えている。 ヒヤリハット・事故報告書を活用して事故の予防対策がとれている。 針を扱う際やバルーンを扱う際のアルコール消毒の指導はしっかりされている。 職員同士声かけを行い、利用者様の急な立ち上がりにも駆けつけられるようにしている。 ドライブレコーダーを搭載し安全運転を心がけている。					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき てい る	およそ でき てい る	あまり でき てい ない	全く でき てい ない		
						<p>ヒヤリハットの情報共有をタイムリーに行い、リスクを想像しアクシデントを事前に防ぐ努力を常にしている。</p> <p>昼礼で「安全運転で宜しくお願いします」と毎日声掛けしている。</p> <p>定期的な車両点検を実施している。</p> <p>防犯カメラも設置されている。</p>	
② 災害等の緊急時の体制の構築							
10	○ 災害などの緊急時においても、サービス提供が継続できるよう、職員、利用者、関係機関の間で、具体的な対応方針が共有されている		○			<p><u>[具体的な状況・取組内容]</u></p> <p>避難訓練を日勤帯、夜勤帯を想定して実施できている。</p> <p>連絡網も作成されている。</p> <p>災害時の対応についてのマニュアルも作成されている。</p> <p>緊急時にすぐに行動できる職員は多いと思う。</p> <p>コロナ発生時の対応は会議を通して共有済。</p> <p>職員全員が利用者様のキーパーソンに連絡できるようになっている。</p> <p>災害発生時、コロナ感染者出現時の対策を毎月話し合い具体的な行動プランを立て</p>	<p>✓ 「緊急時におけるサービス提供のための備え」について、充足度を評価します</p> <p>✓ 例えば、「安否確認方法の明確化」、「連絡先リストの作成」、「医療材料などの確保」、「災害時ケアのマニュアル化」などが考えられます</p>

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
		ている。					
II サービス提供等の評価							
1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供							
(1) 利用者等の状況把握及びアセスメントに基づく計画の作成							
① 利用者等の 24 時間の暮らし全体に着目した、介護・看護両面からの一体的なアセスメントの実施							
11	○ 在宅時の利用者の生活状況や家族等介護者の状況等を含む、利用者等の 24 時間の暮らし全体に着目したアセスメントが行われている		○				<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「家族等も含めた 24 時間の暮らし全体に着目したアセスメント」の充足度を評価します ✓ ケアが包括的に提供される看護小規模多機能型居宅介護においては、家族等も含めた 24 時間の暮らし全体に着目したアセスメントが必要となります
		<p>[具体的な状況・取組内容]</p> <p>長い間生活されてきたご自宅でのスタイルに合わせたケアを提供するためのアセスメントが行われている。</p> <p>本人のできること、家族のできることを丁寧に確認してから 24 時間の暮らしを安全に守る方法をアセスメントしている。</p> <p>家族と連絡を取り合い、サービスの予定変更に対応している。</p>					
12	○ 介護職と看護職がそれぞれの視点から実施したアセスメントの結果が、両職種の間で共有されている		○				<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「介護職と看護職間でのアセスメント結果の共有」について、充足度を評価します ✓ 介護・看護の両面から行われたアセスメントの結果は、その後のつ
		<p>[具体的な状況・取組内容]</p> <p>カンファレンスで両職種参加して共有できている。</p>					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い		
		昼礼やチャットでアセスメントの報告はその都度行えている。					き合わせなどを通じて、両職種で共有されることが望ましいといえます
② 利用者等の「尊厳の保持と自己実現の達成」を重視した計画の作成							
13	○ 家族を含む利用者等の考えを把握するとともに、その目標の達成に向けた計画が作成されている		○				<p>✓ 「家族等の考えを含めた計画の作成」について、充足度を評価し利用者のみでなく、家族等の考えを適切に把握するとともに、その考えを含めた計画を作成することは重要であるといえます</p>
		<p><u>【具体的な状況・取組内容】</u> 満足度調査のアンケートは毎年実施できている。 ご家族様ともコミュニケーションを図り、お考えをくみ取るようにしている。 利用開始時や状態変化時にご家族様やご利用者様と相談できており、支援シートに反映している。 ご利用者様とご家族様の希望をその都度確認してから目標を設定しケアプランを作成している。</p>					
14	○ 利用者の有する能力を最大限に活かした、「心身の機能の維持回復」「生活機能の維持又は向上」を目指すことを重視した計画が作成されている		○				<p>✓ 「利用者の有する能力を活かした、心身機能の維持回復を重視した計画の作成」について、充足度を評価します</p> <p>✓ 「利用者が尊厳を持って、その有する能力に応じ地域において自立した日常生活を営む」ために、</p>
		<p><u>【具体的な状況・取組内容】</u> できる ADL をしている ADL に反映できるようセラピストから助言をもらって生活リハビリ表は作成されている。 利用者様にとって必要な機能や課題に対す</p>					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
		<p>る計画が作成されている。 計画はできているがそれを実施出来ない職員もいる。</p>					必要な視点であるといえます
③ 利用者の今後の状況変化の予測と、リスク管理を踏まえた計画の作成							
15	○ 利用者の今後の状況変化の予測と、リスク管理を踏まえた計画が作成されている		○				<p>✓ 「状況変化の予測」と「リスク管理」の2つの視点から、充足度を評価します</p> <p>✓ 介護・看護が一体的に提供される看護小規模多機能型居宅介護においては、特に看護職による予後予測などを踏まえて計画を作成することが重要です</p>
(2) 利用者等の状況変化への迅速な対応とケアマネジメントの実践							
① 継続したアセスメントを通じた、利用者等の状況変化の早期把握と計画への反映							
16	○ サービス提供を通じた継続的なアセスメントにより、利用者等の状況変化を早期に把握し、計画への適宜反映が行われている		○				<p>✓ 「早期の把握」と「計画への適宜反映」の2つの視点から、充足度を評価します</p>
		<p>[具体的な状況・取組内容] 看護師の予後予測も常に情報共有し、リスク管理について多方面から取り組めている。 体調管理を行い誤嚥や転倒のリスクを踏まえて計画を作成している。</p>					
		<p>[具体的な状況・取組内容] 看護職、介護職が連携し状態変化の早期発見、計画への適宜繁栄がおこなわれている。 日々の生活の変化を昼礼やチャットを通じ職員間で共有できているので異常の早期発見も出来ている。 現場とケアマネと管理者との情報交換は出来ている。</p>					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
② 居宅への訪問を含む、利用者等の暮らし全体に着目したアセスメントの実施と計画への反映							
17	○ 通い・泊まりの利用に過度に偏らないよう、適時適切に利用者宅を訪問することで、家族等を含めた居宅での生活状況の変化を継続的に把握している		○				<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「訪問による、家族等を含めた居宅での生活状況の変化の継続的な把握」という視点から、充足度を評価します ✓ 訪問によるケアの提供は、家族等を含めた居宅での生活状況を把握するためにも重要です
③ 利用者等の状況変化や目標の達成状況等に関する関係多職種との情報共有							
18	○ 利用者等の状況変化や目標の達成状況等について、主治医など、事業所内外を含む関係多職種と情報が共有されている		○				<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「利用者等の状況変化や目標の達成状況等の事業所内外を含む関係多職種との情報共有」について、充足度を評価します
(3)介護職・看護職の協働による一体的なサービスの提供							

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
① 介護職と看護職の相互の専門性を生かした柔軟なサービスの提供							
19	○ 介護職と看護職のそれぞれの専門性を最大限に活かしながら、柔軟な役割分担が行われている		○				<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「介護職と看護職の専門性を活かした役割分担」について、充足度を評価します ✓ 介護・看護が一体的に提供される看護小規模多機能型居宅介護では、効果的・効率的なサービス提供のために、各々の専門性を活かした役割分担や、業務の状況等に応じた柔軟な役割分担を行うことが重要です
		<p>[具体的な状況・取組内容]</p> <p>それぞれの役割がはっきりしているがお互い助け合える場合は助け合っている。 介護、看護の基本的な思いは同じで尊重しあっている。 コミュニケーションはよくとれていて柔軟に役割分担できている。 介護職が実施出来る医療ケアに対し、看護職指示のもと実施できている。</p>					
20	○ 利用者等の状況について、介護職と看護職が互いに情報を共有し対応策を検討するなど、両職種間の連携が行われている		○				<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「介護職と看護職の情報共有および対応策の検討」について、充足度を評価します
		<p>[具体的な状況・取組内容]</p> <p>チャットワーク、カンファレンスで情報を共有している。 利用者様の状態変化は共有し合い、昼礼などで対応策を話し合うことが出来ている。</p>					
② 看護職から介護職への情報提供および提案							
21	○ 看護職から介護職に対して、疾病予防・病状の予後予		○				<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「看護職の専門性を活かした、介護職への情報提供や提案等」につ

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
	測・心身の機能の維持回復 などの観点から、情報提供 や提案等を行っている	<u>[具体的な状況・取組内容]</u> 看取り時の状態変化についての情報提供が 行えた。 食事や水分の形や軟膏指示など提案され、 皆で実施できた。 利用者様の観察ポイントや病状による注意 点の助言が看護職から介護へ行われている。 予後予測と、細かい対応手順も指導してく れている。					いて、充足度を評価します ✓ このような情報提供や提案等は、 看護職の専門性を活かした役割 の1つとして期待されます
(4)利用者等との情報及び意識の共有							
① 利用者等に対するサービスの趣旨及び特徴等についての情報提供							
22	○ サービスの趣旨および特徴 等について、分かりやすく 説明し、利用者等の理解を 得ている		○			✓ 「利用者等の理解」について、充 足度を評価します	
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> ご利用者様にはわかりやすく説明するこ とを心がけており、理解を得ていると思う。 支援シートの表記をわかりやすくして、口 頭での説明も丁寧に行っている。 常に利用者様やご家族様と相談しプランを 作成しているので理解を得ている。 ケアマネがサービス内容についてその都度 説明し了承を得ている。					
② 利用者等への「在宅での療養生活」に係る指導・説明							

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき ている	おおよそ でき ている	あまりで きてい ない	全く でき てい ない		
23	○ 作成した計画の内容や在宅での療養生活の継続に向けて留意すべき点等について、分かりやすく説明し、利用者等の理解を得ている		○				✓ 「利用者等の理解」について、充足度を評価します
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> ご利用者様にわかりやすい言葉を選び、落ち着いた声のある声で説明している。 ケアマネからご利用者様とご家族様に説明し、おおむね理解を得ている。					
24	○ 利用者等が行う医療処置や医療機器の取り扱い方法、家族等が行うケアの提供方法等について、分かりやすく説明し、利用者等の理解を得ている		○				✓ 「利用者等の理解」について、充足度を評価します
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> 看護師の助言を含めて説明し理解して頂いている。 看護師から直接説明・指導し、理解を得ている。					
③ 重度化した場合や終末期における対応方針の、利用者等との相談と共有							
25	○ 利用者本人（意思の決定・表示ができない場合は家族等）の希望や意向を把握し、サービスの提供に反映している		○				✓ 「サービス提供への適切な反映」について、充足度を評価します
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> 状態が変化した時、変化しそうな時にご利用者やご家族に説明し希望を聞くことが出来ている。 在宅での生活が続けられるよう支援している。 その都度不安が無くなるよう希望や意向を					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
		聞き出しサービス提供に反映している。 変化に合わせて柔軟にサービスを行っている。					
26	○ 在宅生活の継続の可否を検討すべき状況を予め想定し、その際の対応方針等について、利用者等と相談・共有することができる		○				✓ 「将来に発生し得る様々なリスクを想定した上での、対応策の検討と共有」について、充足度を評価します
		<u>【具体的な状況・取組内容】</u> 主治医、ご利用者様、ご家族様とも情報共有し、今後の対応について相談できている。リスクの想定とその説明、対策の検討を行い、情報共有に尽力している。					
27	○ 終末期ケアにおいて、利用者等に適切な時期を見計らって、予後および死までの経過を丁寧に説明し、説明した内容や利用者等の意向等を記録として残している	○					✓ 「予後および死までの経過の説明」と「記録の有無」の2つの視点から、充足度を評価します ✓ 「丁寧に説明し」且つ「記録として残している」場合は「よくできている」
		<u>【具体的な状況・取組内容】</u> 主治医と連携を強化し看取りケアについて丁寧に細かくご家族に説明し契約を実施している。 何が一番良いかを考えた方法を丁寧に説明している。 状態は細かく記録され共有できている。					
2. 多機関・多職種との連携							
(1) 病院・施設等との連携による円滑で切れ目のないケアの提供							
① 病院・施設等との連携や情報共有等による、在宅生活への円滑な移行							
28	○ 病院・施設等との連携・情報		○				✓ 「利用者の円滑な在宅生活への

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
	共有等により、病院・施設等からの、利用者の円滑な在宅生活への移行を支援している						移行」について、充足度を評価します ✓ 例えば、「退院・退所前のカンファレンスへの参加」、「利用者等に係る病院・施設等との継続した情報共有」などの取組が考えられます
② 入院・入所の可能性がある利用者についての、主治医等との対応方針の共有							
29	○ すべての利用者について、緊急時の対応方針等を、主治医等と相談・共有することができている		○				✓ 「緊急時の対応方針等の主治医等との相談・共有」を評価します ✓ 利用者の状態変化・家族等介護者の状況の変化など、実際に発生する前の段階から予め対応方針等を主治医等と相談・共有しておくことが重要です
③ 地域の医療機関等との連携による、急変時・休日夜間等に対応可能な体制の構築							
30	○ 地域の医療機関等との連携により、休日夜間等を含めて、すべての利用者について、急変時に即座に対応が		○				✓ 「即座な対応が可能な体制の構築」について、充足度を評価します
		[具体的な状況・取組内容] 緊急時の対応は、最初の契約時に話し合い					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
	可能な体制が構築されている	ほとんどの利用者は訪問看護ステーションの夜間オンコールで対応する体制が構築されている。					
(2) 多職種との連携体制の構築							
① 運営推進会議等における、利用者のために必要となる包括的なサポートについての、多職種による検討							
31	○ 運営推進会議等において、利用者のために必要と考えられる包括的なサポートについて、民生委員・地域包括支援センター・市区町村職員等への情報提供や提案が行われている		○				<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「利用者のために必要となる、介護保険外のサービスやインフォーマルサポート等を含めたケアの提供について、多職種とともに検討・支援を行っていくなどの取組」の充足度を評価します ✓ そのような取組をしたいことがない場合は「全くできていない」 ✓ 民生委員のみでなく、自治会長や町会長などの住民代表も対象です
3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画							
(1) 地域への積極的な情報発信及び提案							
① サービスの概要及び効果等の、地域に向けた積極的な情報の発信							
32	○ 運営推進会議の記録について、誰でも見ることができ		○				<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「誰でも見ることができる方法での情報発信」と「迅速な情報発

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
	るような方法での情報発信 が、迅速に行われている	<u>[具体的な状況・取組内容]</u> 誰でも見れるよう施設の玄関に設置し迅速 に情報発信が行われている。 会議は開催されていないが2 ヶ月に1回議 事録をまとめチャットと玄関に置いている ファイル内で情報共有している。					信」の2つの視点から、充足度を 評価します
33	○ サービスの概要や地域にお いて果たす役割等につい て、正しい理解を広めるた め、地域住民向けの積極的 な啓発活動が行われている			○		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> コロナ禍において積極的な啓発活動は行え ていない。	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「積極的な啓発活動」について、 評価する項目です ✓ 例として、「チラシ等の配布」や 「地域説明会の実施」などの取組 が考えられます。 ✓ 利用者や職員の確保のみを目的 とした活動等は除きます
(2) 医療ニーズの高い利用者の在宅での療養生活を支える、地域拠点としての機能の発揮							
① 看護小規模多機能型居宅介護事業所の登録者以外を含む、地域への訪問看護の積極的な提供							
34	○ 看護小規模多機能型居宅介 護事業所の登録者以外を対 象とした訪問看護を積極的 に実施している					<u>[具体的な状況・取組内容]</u>	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「指定訪問看護事業所の指定を 併せて受けている事業所」のみが 対象です。該当しない場合は、実 施状況欄は無記入で、[具体的な 状況・取組内容]欄に「指定なし」 と記入してください ✓ 「登録者以外を対象とした訪問 看護」を実施していない場合 は、「全くできていない」

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき てい る	およそ でき てい る	あまり でき てい ない	全く でき てい ない		
							✓ 「あまりできていない」～「よくできている」は、その「積極性」の視点から、充足度を評価します
② 医療ニーズの高い要介護者の積極的な受け入れ							
35	○ 「たん吸引」を必要とする要介護者を受け入れることができる体制が整っており、積極的に受け入れている	○					<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「積極的な受け入れ」について、充足度を評価してください ✓ 「受け入れることができる体制」が整っていない場合は、「全くできていない」 ✓ 「あまりできていない」～「よくできている」は、その「積極性」の視点から、充足度を評価します
36	○ 「人工呼吸器」を必要とする要介護者を受け入れることができる体制が整っており、積極的に受け入れている				○		<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「積極的な受け入れ」について、充足度を評価してください ✓ 「受け入れることができる体制」が整っていない場合は、「全くできていない」 ✓ 「あまりできていない」～「よくできている」は、その「積極性」の視点から、充足度を評価します
37	○ 「看取り支援」を必要とする要介護者を受け入れるこ	○					✓ 「積極的な受け入れ」について、充足度を評価してください

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足	
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い			
	とができる体制が整っており、積極的に受け入れている	<u>[具体的な状況・取組内容]</u> 積極的に受け入れて家族への対応もできている。 いつでもできる体制である。 看取りマニュアルがある。 1年間で複数の看取り支援を行っている。					✓ 「受け入れることができる体制」が整っていない場合は、「全くできていない」 ✓ 「あまりできていない」～「よくできている」は、その「積極性」の観点から、充足度を評価します	
(3) 地域包括ケアシステムの構築に向けての、まちづくりへの参画								
① 行政の地域包括ケアシステム構築に係る方針や計画の理解								
38	○ 管理者および職員が、行政が介護保険事業計画等で掲げている、地域包括ケアシステムの構築方針や計画の内容等について理解している		○				<u>[具体的な状況・取組内容]</u> 看多機が地域包括ケアシステムの中ではたす役割を理解し、必要なサービス提供が出来る。	✓ 「内容等の理解」について、その充足度を評価します ✓ 地域包括ケアシステムの構築にあたっては、その中で各々が果たすべき役割を、明確に理解することが必要であるといえます ✓ 地域包括ケアシステムの構築方針や計画などが無い場合は、「全くできていない」
② サービス提供における、(特定の建物等に限定しない) 地域への展開								
39	○ サービスの提供エリアについて、特定の集合住宅等に限定せず、地域に対して積極的にサービスを提供している		○				<u>[具体的な状況・取組内容]</u> 限定せずに加古川市全域にサービス提供出来る。	✓ 「特定の集合住宅等に限定しない、地域への積極的な展開」について、充足度を評価します ✓ 看護小規模多機能型居宅介護は、特定の集合住宅等に限定することなく、地域全体の在宅療養を支える核として機能していくこと

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い		
							が期待されます ✓ 特定の集合住宅等のみを対象としている場合は「全くできていない」
③ 安心して暮らせるまちづくりに向けた、関係者等への積極的な課題提起、改善策の検討等							
40	○ 介護・看護の観点から、地域の関係者に対し、必要に応じて課題提起や改善策の提案等が行われている		○				<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「課題提起や改善策の提案等の取組」について、その充足度を評価します ✓ 今後は、サービスの提供等を通じて得た情報や知見、多様な関係者とのネットワーク等を活用し、必要となる保険外サービスやインフォーマルサービスの開発・活用等、利用者等のみでなく地域における課題や改善策を関係者に対して提案していくなどの役割も期待されます ✓ そのような取組をしたことがない場合は、「全くできていない」
41	○ 家族等や近隣住民などに対し、その介護力の引き出し		○				<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「家族等や近隣住民に対する、介護力の引き出しや向上のための

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
	や向上のための具体的な取組等が行われている	<p><u>[具体的な状況・取組内容]</u> ご家族様へ状況の変化に応じたケアの提案や指導を行えている。 全員は出来ていないが、近隣の方の理解があり在宅生活が継続できている。</p>					<p>取組」について、その充足度を評価します</p> <p>✓ 今後は、利用者への家族等や近隣住民の関わりを促しながら、関係者全員の介護力を最大限に高めることにより、在宅での療養生活を支えていくための環境を整えていくなどの役割も期待されます</p> <p>✓ そのような取組をしたことがない場合は、「全くできていない」</p>

番号	評価項目	事業所自己評価	運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
Ⅲ 結果評価				
① 計画目標の達成				
42	○ サービスの導入により、利用者ごとの計画目標が達成されている	<p>1. ほぼ全ての利用者について、達成されている</p> <p>2. 利用者の2/3くらいについて、達成されている</p> <p>3. 利用者の1/3くらいについて、達成されている</p> <p>4. 利用者の1/3には満たない</p> <p>[具体的な状況・取組内容]</p> <p>ご利用者に合った計画を立て実施できている。</p> <p>計画に沿ったケアを提案し、職員間で情報共有する事により目標の達成率アップに繋がっている。</p> <p>短期目標の達成を積み重ねていっている。</p>		✓ 「計画目標の達成」について、評価します
② 在宅での療養生活の継続に対する安心感				
43	○ サービスの導入により、利用者およびその家族等において、医療が必要な状況下においての在宅での療養生活の継続に対し、安心感が	<p>1. ほぼ全ての利用者について、達成されている</p> <p>2. 利用者の2/3くらいについて、達成されている</p> <p>3. 利用者の1/3くらいについて、達成されている</p> <p>4. 利用者の1/3には満たない</p>		✓ 在宅での看取りを除く、全ての利用者およびその家族等に対し、サービスの提供により実現された「医療が必要な状況下においての、在宅での療養生活の継続に対する安心感」に

番号	評価項目	事業所自己評価	運営推進会議における意見等	評価の視点・評価にあたっての補足
	得られている	<p><u>〔具体的な状況・取組内容〕</u></p> <p>吸引や褥瘡、医療処置が必要な方への説明やスタッフ間での共有は出来ている。</p> <p>医療行為や薬剤管理のサポートが出来ており安心頂いている。</p> <p>医療ケアが必要な方が在宅生活を続けることが出来ている。</p> <p>満足度調査の結果からも多くの利用者様およびご家族様から安心感が得られていると返答あり。</p> <p>24時間 365日対応できることで安心につながっている。</p> <p>ご家族様からの相談等にいつでも対応していることで安心につながっている。</p>		ついて、評価します
44	○ サービスの導入により、在宅での看取りを希望する利用者およびその家族等において、在宅での看取りに対する安心感が得られている	<ol style="list-style-type: none"> 1. ほぼ全ての利用者について、達成されている 2. 利用者の2/3くらいについて、達成されている 3. 利用者の1/3くらいについて、達成されている 4. 利用者の1/3には満たない 5. 看取りの希望者はいない 		<ul style="list-style-type: none"> ✓ 在宅での看取りを希望する利用者およびその家族等に対し、サービスの提供により実現された「在宅での看取りに対する安心感」について、評価します ✓ 在宅での看取りは、事業所内(通い・

番号	評価項目	事業所自己評価	運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		<p><u>[具体的な状況・取組内容]</u></p> <p>主治医、家族、事業所が連携することにより状況変化に対応することが出来ている。 マニュアル通り対応できている。 全ての看取り契約を行ったご家族様からいい評価を得ている。 訪問泊り通いを調整し対応することが利用者、家族の安心感につながっている。</p> <p>24 時間対応で看護師と介護士が連携しケアに関わっている。</p>		<p>泊まり) での看取りを含みます</p> <p>✓ 在宅での看取りの希望者がいない場合は、「5. 看取りの希望者はいない」</p>